

平成30年9月21日

保護者 様

時津町立時津中学校
校長 川里 祥之

平成30年度 前期学校評価アンケートの結果について

去る7月に標記アンケートを実施いたしました。多数ご協力いただきありがとうございました。その結果について、次のような視点に立ってまとめましたのでお知らせいたします。

なお、各視点の中で示している数値は、各設問における肯定的な回答（そう思う、大体そう思うを合わせた）の全体に対する割合を示すものです。

1 教育活動

「時津中は活気があり、落ち着いた学校生活である」という設問に対し、生徒81%・保護者91%の比較的高い評価が得られました。活気と落ち着きの両面で、保護者や生徒の学校生活に対する満足度は、おおむね満足できるレベルであると判断できます。今後も節度ある学校生活にむけて、より高いレベルを目指したいと考えます。

「学校教育目標や学級目標等の理解」に関する設問では、生徒78%・保護者82%であり、昨年度の同時期と比較すると、保護者の評価は5ポイント上昇しています。引き続き、学校教育目標の具現化と生徒の実践力の育成に努めていきたいと考えます。

「生徒の家庭学習の習慣の状況」は、生徒84%・保護者79%となりました。家庭学習の習慣はおおむね定着していると判断できます。一方、「学校から出される宿題を増やしてほしい」というご意見も複数いただきました。毎時間の学習内容の深化と定着を図り、学力向上のためにも計画的な家庭学習の課題は重要であると考えます。計画的な家庭学習に役立つ宿題の出し方を検討していきたいと考えます。併せて授業中の生徒の積極的な学習への取組や、進んで挙手発表できる授業実践に努めます。

2 教育環境

「生徒の親身になった相談活動」に対しては、生徒83%・保護者84%といずれも高い評価を得ました。年間の定期的な教育相談に合わせ、生徒個々の状況に応じたケアを今後も積極的に続けていきたいと思えます。

「交通ルールを守る等の安全に対する意識」は、生徒93%と非常に高い意識が持たれています。ただ、夏季休業中も含めた1学期間の中では、生徒の自転車運転中の事故が数件発生しているのも事実です。交通安全に関する意識啓発・指導等については、今後も計画的に取り組んでいきたいと考えます。また、学校施設・設備の安全点検等も踏まえ、安心・安全な学校づくりを目指します。

「学校や家庭における身の回りの整理整頓」については、生徒自身の評価と保護者や教職員の評価に大きな開きが見られました。これは、整理整頓の状況やレベルに対する認識の違いと思われる。整理整頓は生活の基本であり、校内活動の中でしっかりと指導していく必要があると考えます。

3 地域・家庭のかかわり，家庭生活

「生徒の登下校中のあいさつの状況」については、学校支援会議においても情報をいただきました。その内容は「生徒の立場からすれば、顔見知りではない人に対するあいさつには抵抗もあるのではないか」というものです。また、「近所の方には、中学生の方から声をかけてくれる」とのご意見もありました。一概にあいさつの状況が悪いというわけではありません。進んで気持ちのよいあいさつのできる生徒の育成に努めたいと思います。

「毎朝、ごはん（パン）とおかずの朝食をとる」ことは、90%と例年高い結果を得ています。しかし「早寝・早起きの習慣」は、生徒66%・保護者63%と低い結果です。同様に「携帯・スマホ・ゲーム等のルールの状況」も生徒62%・保護者50%と低く、双方の関連も考えられます。携帯・スマホ・ゲーム等の使用や情報モラルの指導も含め、基本的な生活習慣の定着に向けて、家庭と協力しその改善に向けて進めたいと思います。

4 生徒活動

「無言清掃への取組」は、80%の生徒ができていますと答えています。また「責任ある係活動への取組」についても、90%の生徒が高い意識を持ち取り組んでいると答えています。生徒各自がそれぞれの役割を果たす実践ができていますと言えます。今後も生徒全員が達成感の持てる生徒活動にしていきたいと考えます。

「学校行事への積極的な取組」については、生徒88%・保護者89%という結果になりました。併せて「取組の様子が、教職員から妥当に評価されているか」という設問においても、同様に高い評価が得られました。

「いじめ根絶に対する意識化・行動化」については、生徒96%・保護者95%と本アンケート全ての設問の中で、最も高い評価が得られました。ただ、本校において、いじめ事案が見られ、根絶できていないことは大変遺憾であります。今後「いじめゼロの学校」の実現に向けて、生徒の心の教育とともに、全職員で取り組む所存です。また、必要に応じて関係機関と連携し根絶を目指します。

5 自由記述欄から（多数のご意見をいただいたもののみ）

○通学カバンが重いので、少しでも軽くできる方法はないものか。

今後よりよい改善に向けて検討してまいります。

○宿題をもっと出してほしい。自学といっても何をすればよいかわからない。

学力向上の観点からも、家庭学習は重要と考えます。各学年生徒の現在の状況を踏まえ、効果的な家庭学習となるよう検討したいと思います。

以上、学校評価という趣旨に沿った視点から考察し、まとめたところです。その他学校として改善・努力すべき点については、真摯に検討してまいります。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。